年度	学年	教科	授業数／週
令和８年度	3	数学科	4
教科書			
東京書籍「新しい数学」			
補助教材			
新学社「数学の問題ノート」③			

年間指導目標
■平方根の意味を理解し、それを用いた計算ができるようにするとともに、式の展開や因数分解に習熟し、必要に応じて式を変形できるようにする。また、二次方程式について理解し、それを用いることができるようにする。 ■具体的な事象を調べることを通じて、二乗に比例する関数について理解するとともに、関数関係を見いだし考察することができるようにする。 ■図形の性質について、三角形の相似条件を基にして確かめ、論理的に考察して表現できるようにするとともに三平方の定理を理解し、それを用いることができるようにする。

観点	評価材料	評価基準
知識 ・ 技能	・定期テスト ・単元テスト・小テスト （知識・技能）	各評価材料の合計が、おおむね８０％以上はA評価、３０％以上８０％未満はB評価、３０％未満はC評価とします。
思考 ・ 判断 ・ 表現	・定期テスト ・単元テスト・小テスト （思考・判断・表現）	各評価材料の合計が、おおむね７０％以上はA評価、３０％以上７０％未満はB評価、３０％未満はC評価とします。
主体的に 学習に 取り組む 態度	・パスカル ・ワーク ・ノート ・定期テスト解きなおし	各評価材料の合計が、おおむね８０％以上はA評価、３０％以上８０％未満はB評価、３０％未満はC評価とします。

注意事項	ノートは黒板に書かれたものを書くことを最低限のものとし、先生の話や自分なりの重要事項をまとめることを心掛けてください。授業では、「問題・予想・課題」の流れのうち、予想を自分なりに考えることをしましょう。
アドバイス	定期テストについては、教科書、ワークを何度も解き、数字が変わったとしても解くことのできるような学習をしましょう。人に説明でできるくらいまで、理解を深めると結果に繋がると思います。